

駐車場付き民泊物件

ノットコーポレーション 利用者は外国人団体客

リノベーション事業を行うノットコーポレーション(大阪市)は、築65年の空き家を改修し、特区民泊として転用。1階に駐車場を設けて、家族連れの利用者に訴求した。



場所は大阪メトロ谷町線「都島」駅から徒歩5分の木造2階建て。長年空室が続いており、売りに出されていたところ、購入したオーナーが民泊



▲照明を数力所に取り入れ、明るい居室としている

を検討。同社が設計、施工を行った。

間取りは10人収容の3LDK。築古の木造物件の良さを生かし、フロアリングは全て木目調で統一。既存の建具や欄間をそのまま残している。新たに増設した天井の梁や絵が描かれた障子は、物件の雰囲気合う演出を心がけている。階段をスケルトンにすることで、開放感のある造りに。物

件の弱点でもあった狭さを克服している。

宿泊費は1泊約8000円からで、特区民泊のため2泊から利用可能。2月より営業を開始しており、これまで約8割の稼働率を維持している。宿泊者のうち8割が外国人だ。レンタカーを借りて観光する利用者が多く、「駐車場スペースがあることが決め手となった」という声も上がっているという。同社の河内道生代表は「空き家を民泊に再生する事業を積極的に進めていきたい」と話す。